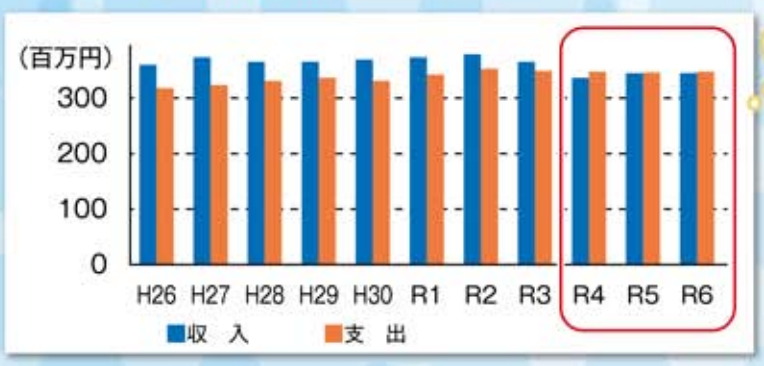
水道事業の現状

Q
A

なぜ水道料金の改定が必要なの？

1. 水を作るコストが料金収入を上回っています

水道事業の経営は、人口の減少による収入の減少や、物価の高騰による支出の増加によって、全国的に厳しい経営環境を迎えています。野木町では平成28年頃から有収水量（皆様にご使用いただいた水の量）が減少の傾向に転じ、令和4年度から赤字の経営となっています。



直近3ヵ年が赤字です

2. 古くなった施設の更新が増えています

野木町の水道事業は昭和49年に認可を受け、整備が始まりました。この際に整備した水道管や浄水場などは、現在老朽化がすすみ、続々と更新時期を迎えていきます。

今後10年でおよそ36kmが法定耐用年数を超過

生じた利益で更新をしています

漏水管の修繕

水道事業を続けていくために…

将来的にわたって水道事業を続けていくためにも料金改定をする必要があります。

改定しないと…

借入金残高の見込み

NEW 改定後の料金表（税抜き）はこちら

水道事業

口径	基本料金	従量料金	
		10㎥まで	11㎥から
13mm	910円	30円	152円
20mm	1,080円		
25mm	1,180円		
30mm	1,330円		
40mm	1,830円		
50mm	4,140円		
75mm	5,950円		
100mm	8,550円		